

ニュージャージー州の研究大学と日本のトップ大学、および大手製造会社が、研究開発の協力関係を前進させるために基本合意書を締結

ローワン、プリンストン、キーンの各大学が、日本の積水化学工業、芝浦工業大学、東京大学、および大阪経済大学との間でパートナーシップの構築と再確認を行う

日本、東京 — 本日マーフィー知事は、ニュージャージーと日本の主要研究大学、および有力製造企業の間で締結された基本合意書（MOU）の調印を祝いました。知事率いる **Choose New Jersey** 経済使節団のミッション期間中に、ローワン大学、芝浦工業大学（SIT）、および世界的なプラスチック製造企業である積水化学工業の三者、そしてキーン大学と大阪経済大学がそれぞれ MOU を締結するとともに、プリンストン大学と東京大学の MOU についても再確認が行われました。このパートナーシップにより、製造部門におけるニュージャージーの学生の研究開発能力を向上させ、技術部門では新たな共同研究プロジェクトが実施されることとなります。

「今回の合意により、ニュージャージーにある世界的に有名な大学であるローワン大学の研究者が、民間部門や学界における日本の優秀な頭脳と協働できるチャンスが拡大します。」と、マーフィー知事は述べました。「ニュージャージーはアメリカ市場の入口であり、私たちは日本からの友人を歓迎し、より環境に優しい未来を構築すること、そしてその過程で報酬の高い雇用を何世代にもわたり生み出していくことを強く願っています。」

最初の MOU は、ローワン大学学長兼学務担当上級副総長であるトニー・ローマン氏と、積水化学工業株式会社の執行役員、ディレクターコーポレート R&D センター所長を務める向井克典氏との間で締結されました。ちなみに同社はニュージャージー州セカカスに拠点を構えています。この教育機関と、業界をリードするプラスチックメーカーは、20 年間にわたって協力関係にあります。今回の MOU によって、研究開発プロジェクトにおいて協力するという既存の合意が正式なものになり、ローワン大学が研究所の業務を引き続きサポートします。

2 つ目の MOU は、ローワン大学学長兼学務担当上級副総長であるトニー・ローマン氏と、芝浦工業大学学長の山田純博士社長との間で締結されました。この MOU により、学生と教員の交換プログラムが確立され、共同研究プロジェクトが実施されるとともに、双方の大学が関心を有する分野において、学際的な研究、イノベーション、および技術を共有する道筋を作ります。

「私たちが当校のキャンパスで長年続けてきた協力関係の結果、ローワン大学と積水化学工業の科学者たちは、主要な温室効果ガスを有益な物質に変換する革新的な方法を開発しました。より重要なこととして、このプロセスは効果とコスト効率が高く、容易に実行可能です。」と、ローワン大学のトニー・ローマン学長は述べました。「私たちは世界有数のサステイナブル企業であると正しく認識されている積水化学工業とパートナーシップを継続できることを心から

喜んでいますが。さらに、芝浦工業大学と新たに協力を始めることについても胸を躍らせています。これが双方の大学にメリットをもたらすのは間違いありません。このようにアイデアを自由に交換することで、研究に活気が生まれ、技術が前進するのです。」

同時に、プリンストン大学と東京大学との間で継続中のパートナーシップについても確認が行われました。これらの学術機関は 1 月に締結された MOU により、継続中の学生交換プログラムを今後 5 年間にわたる再更新と天体物理学、東アジア研究、およびプリンストン公共・国際問題校の教授陣が長年主導してきた協力関係も再確認しました。

プリンストン大学のイノベーション担当副学長を務めるクレイグ・アーノルド氏は、今回の更新と、それが双方の大学にもたらす効果を称えました。

「今回の使節団のミッションは、ニュージャージー州と同州が誇るイノベーションのネットワークにとり、私たちの範囲や影響力を拡大させるは絶好のチャンスです」と、プリンストン大学のイノベーション担当副学長を務めるクレイグ・アーノルド氏は述べました。「現在、州内の企業や大学の研究所で、私たちは重大な問題を解決し、ニュージャージー州の人々、そして世界各地の人々の生活を改善する方法を開発しています。今回、マーフィー知事の主導によるアジアへ働きかけは、協力関係を強化し、すべての人々に相互利益をもたらす新たなパートナーシップを生み出し、架け橋が築かれるでしょう。」

キーン大学学長のラモント・O・レポレット博士、同大学上級学長兼特別顧問のフェリス・バスケス氏、大阪経済大学大学の山本俊一郎博士、並びに同大学副学長の森詩恵博士が締結した MOU は、学生と教員の交換プログラムが確立するとともに、研究プロジェクト、講義、セミナー、そして両大学が相互に合意したすべての学術的取り組みにおける協力関係の円滑化を図るものです。

「大阪経済大学との新たなパートナーシップによって、ニュージャージーの都市研究大学としてキーン大学の果たす役割が強化され、ニュージャージーで、そして世界中でイノベーションを促進するチャンスがもたらされます。」と、キーン大学総長のラモント・O・レポレット博士は述べました。「キーン大学はすでに、国際的・異文化的な協力関係がこの地域の学生と教員にもたらすメリットを目にしています。大阪経済大学の仲間たちと協力することで、研究と文化の双方において理解がさらに広がることを期待しています。この取り組みにおけるマーフィー知事のリーダーシップに敬意を表します。」

「研究大学はニュージャージーの経済を支える柱です。」と、**Choose New Jersey** の理事長兼 CEO ウェズリー・マッシュューズ氏は述べました。「これらのパートナーシップを育むことで、世界で最も尊敬されている研究機関の一部を結集させ、人材の比類なきパイプラインを保つことを確保します。」

ニュージャージー東アジア経済使節団について詳細に興味をお持ちの記者の方は、マーヘン・グナラトナ（mahen.gunaratna@nj.gov）またはイングリッド・オースチン（iaustin@choosenj.com）までご連絡いただくか choosenj.com/EastAsiaMission にて追加の詳細情報をご確認ください。

Choose New Jersey, Inc.について

Choose New Jersey は経済開発分野をリードする非営利組織です。ニュージャージー州の経済成長を実現するため、雇用創出の促進と資本投資の誘致を行っています。また、合衆国で最も暮らしやすく、働きやすく、遊びやすい州としてニュージャージーを世界規模で売り込むとともに、当地で事業を開始または拡大する企業のガイドをしています。当組織のスタッフは、州の関係機関や民間パートナーから成るネットワークのサポートを受け、ニュージャージー州で事業を開始する企業に秘密厳守の支援を無料で提供しています。詳しくは choosenj.com をご覧ください。

###